

平成29年度TMG本部 看護局研修計画

【教育方針】

看護・介護職者のキャリア開発を支援し、多様化する地域住民のニーズに応えうる人間性豊かな人材育成を目指す

【平成29年度教育目標】

1. 自律した専門職を育成する
2. 自律した管理者を育成する
3. 看護・介護を研究的視点で追求できる人材を育成する

【新人研修】

研修名	内容
新人フォロー研修 ・アサーティブ コミュニケーション ・半年後の振り返り とプロ意識醸成	・アサーティブネスのマインド (心構え)と目指すもの ・組織で成果を出すために必要なことを考える ・プロフェッショナル人材に求められる要件

【ラダーレベルⅢ-1】

研修名	内容
ファシリテーション 実践編	・ファシリテーションとは？ ・ファシリテーションのスキルが活用できる「場」と「対象」 ・事例検討の具体的な進め方 ・ファシリテーターとして心掛けること

【ラダーレベルⅣ】

研修名	内容
社会的動向と TMG	・社会的動向とTMG・看護局 ・組織の成り立ちと構造 ・組織における自己の役割

【ラダーレベルⅠ】

研修名	内容
看護局分科会 新入職者オリエン テーション	・新社会人に期待すること ・TMG看護局紹介 ・先輩職員の体験より学ぶ
看護記録	・看護記録の法的責任について ・記載基準について ・事例を基にグループワーク

アサーティブ コミュニケーション	・アサーティブネスとは ・コミュニケーションパターン ・アサーティブネスのマインド(心構え)と目指すもの
フォロワーシップ	・立場を変えて考える ・中堅職員として自分の役割を認識する ・上司の判断軸を理解する ・フォロワーとしての問題発見・解決 ・目標管理に活かす

論文クリティーク	・クリティークとは何か？ ・論文クリティークとクリティカルシンキング ・論文クリティークで研究プロセスを学ぶ ・臨床実践における論文クリティークの意義
リーダーのタイム マネジメント	・組織のタイムマネジメントについて考える ・人員適正配置と業務分担 ・部下に対する適切な行動管理 ・部下の教育とスキルアップ ・業務の見直し～組織の無駄をなくす業務改善

看護記録(2日間)	・概論-NANDA-NIC-NOCとは ・事例展開-グループワーク
-----------	--------------------------------------

論理的でわかり やすい文書の書 き方	・主張と論拠を整理する ・論理的に文章を組み立てる ・相手に「伝わる」文章にするためのポイント
--------------------------	---

【ラダーレベルⅡ-1】

研修名	内容
タイムマネジメント	・時間管理について考える ・自分のワークスタイルを知る
メンバーシップ	・組織の求めるビジョンを考える ・チームワークについて
看護倫理基礎編	・看護倫理とは(倫理綱領) 倫理と道徳

【ラダーレベルⅢ-1、Ⅲ-2】

研修名	内容
「教える」を デザインする	・プレゼンテーションマインド ・プレゼンテーションの理論 ・相手に合ったデザイン ・内容構成の基本

【ラダーレベルCN-1・2】

研修名	内容
認定看護師 キャリア開発	・組織での認定看護師としての役割発揮 ・多職種、上司、同僚も含む協働
認定看護師 活動報告会	・分野別発表 ・活動チーム別発表

【ラダーレベルⅡ-2】

研修名	内容
研究を マスターしよう	・研究計画書 ・文献検索
伝達力アップ！ ～分かりやすい 説明の仕方～	・意図の明確化 ・内容の整理 ・話す技術 ・演習
看護倫理事例編	・看護倫理の問題点 ・看護業務に直面する倫理的課題 事例検討・グループワーク
リーダーシップ	・求められる役割 ・リーダーの「人間力」
ファシリテーション 基礎編	・ファシリテーションとは？ ・場のデザインスキル

【ラダーレベルⅢ-2】

研修名	内容
アサーティブ コミュニケーション	・こうした場合どうする？ ・アサーティブであるということ ・コミュニケーションとは ・ケーススタディ
リーダーシップ	・リーダーとしての役割認識 ・感情をマネジメントする安定力 ・組織の判断軸を考えて決める判断力
問題発見・解決の 進め方	・問題解決のポイント ・現状調査・分析の方法 ・解決策の立案のポイント ・問題発見・解決演習 ・日常業務の問題発見・解決企画案作成

【ラダーレベルⅤ】

研修名	内容
評価者のための 手法	・評価者としての役割認識 ・人事評価の意義と重要性 ・評価における面談の進め方 ・面談時のコミュニケーションの基礎 ・実践ケーススタディ

【副部長・部長】

研修名	内容
教育計画の構築	・社会で求められるスキル ・人格の成長 ・主体性の発揮とは ・チームの人間力を上げる

【専門分野研修】

研修名	内 容
認知症のケア	<ul style="list-style-type: none"> ・回想法 ・ユマニチュード他
感染管理 ■環境整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・病院/施設の患者/利用者周囲の環境整備の考え方 ・環境清掃の種類と方法 ・高頻度接触部位と低頻度接触部位とは ・スボルディングの分類と消毒薬の種類
高齢者の予防的スキンケア	<ul style="list-style-type: none"> ・脆弱な皮膚のスキンケア
緩和ケア ■エンド・オブ・ライフケアベーシック講座	<ul style="list-style-type: none"> ・エンド・オブ・ライフケアにおけるコミュニケーションと倫理 ・看取りのケア ・グリーフケア
摂食嚥下障害看護 ■いつまでもおいしく安全に食べるために	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下の基礎知識 ・脳卒中の摂食嚥下 ・認知症の摂食嚥下
糖尿病・透析看護 ■糖尿病看護	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の病態と分類 ・糖尿病の合併症 ・糖尿病の治療(食事・運動・薬物療法) ・糖尿病看護の基本的な考え方 ・患者支援の実際
ELNEC-J3日間(エンド・オブ・ライフケア) ■全日程出席者には修了書授与	<ul style="list-style-type: none"> ■ELNEC-J3アカリキュラム看護師教育プログラム M1: エンドオブライフケアにおける看護 M2: 痛みのマネジメント M3: 症状マネジメント M4: エンドオブライフケアにおける倫理的問題 M5: エンドオブライフケアにおける文化への配慮 M6: コミュニケーション M7: 喪失・悲嘆・死別 M8: 臨死期のケア M9: 高齢者のエンドオブライフケア M10: 質の高いエンドオブライフケアの達成
中国人看護師入職前研修(3日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化と習慣の理解 ・先輩の経験談 ・日本の医療制度 ・マナー(1) 礼儀・作法 ・マナー(2) 電話対応 ・就業規則 ・感染防止

【介護職員】

研修名	内 容
介護研究	<ul style="list-style-type: none"> ・研究を理解する ・研究計画書が理解できる
ICF(国際生活機能分類)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFとは ・介護とICF
介護倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・介護倫理とは(倫理綱領) ・介護倫理の問題点 ・介護業務に直面するジレンマ
利用者の機能と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標とICFステージング ・演習
ICFステージングの導入に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFステージについて
メンバーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的動向 ・TMG概要・看護局概要 ・組織の求めるビジョンを考える ・チームワークで利用者様に伝えるために ・「きく」の意味 ・「聴く」スキル=「傾聴力」、 ・「訊く」スキル=「質問力」のポイント

【キャリア採用者】

研修名	内 容
活かそう! あなたのキャリア	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的動向 ・TMG概要・TMG看護局概要 ・アサーティブネスとは ・自己表現の権利と責任

【看護補助者・クラーク】

研修名	内 容
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的動向 ・TMG概要・看護局概要 ・チームのなかでのリーダーの役割
メンバーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的動向 ・TMG概要・看護局概要 ・組織の求めるビジョンを考える ・チームワークで患者様に伝えるために ・「聴く」スキル=「傾聴力」、 ・「訊く」スキル=「質問力」のポイント

【実践報告会】

研修名	内 容
主任実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・行動計画書に沿って実践内容を報告する
係長実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・行動計画書に沿って実践内容を報告する
課長実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・行動計画書に沿って実践内容を報告する
推薦コース実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・行動計画書に沿って実践内容を報告する

【在宅】

研修名	内 容
訪問看護症例検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・ステーションケース発表 ・グループワーク
マナー研修	<ul style="list-style-type: none"> ・電話対応、来客対応の基本 ・文書の書き方 ・メール作成の基本



平成29年度TMG本部 看護局研修計画（介護）

【教育方針】

看護・介護職者のキャリア開発を支援し、多様化する地域住民のニーズに応える人間性豊かな人材育成を目指す

【平成29年度教育目標】

1. 自律した専門職を育成する
2. 自律した管理者を育成する
3. 看護・介護を研究的視点で追求できる人材を育成する

【介護職員】

研修名	ねらい	内 容	対象
介護研究	研究の意義や目的を理解し、研究チームの一員として取り組むことができる	・研究を理解する ・研究計画書が理解できる	研究に取り組む予定の方
ICF (国際生活機能分類)	ICFの概念と介護領域におけるICFの考え方を理解する	・ICFとは ・介護とICF	Ⅱ-1
介護倫理	倫理綱領を通して、日常の介護を考える	・介護倫理とは(倫理綱領) ・介護倫理の問題点 ・介護業務に直面するジレンマ	Ⅱ-1
利用者の機能と評価	利用者の機能の評価をケアに活かす	・評価指標とICFステージング ・演習	Ⅱ-2以上 (看護師・リハ・相談員も可)
ICFステージングの導入に向けて	介護記録にICFを取り入れ活用できる	・ICFステージについて	NO.31を受講した方限定
メンバーシップ	組織及びチームの一員としての意識を高めるとともにコミュニケーション力向上を図る	・社会的動向 ・TMG概要・看護局概要 ・組織の求めるビジョンを考える ・チームワークで利用者様に応えるために ・「きく」の意味 ・「聴く」スキル＝「傾聴力」、「訊く」スキル＝「質問力」のポイント	介護員・ 介護補助者

【実践報告会】

研修名	ねらい	内 容	対象
主任実践報告	学んだことを現場にどう活用し、成果に導いたかを発表し共有する	・行動計画書に沿って実践内容を報告する	28年度昇進主任
係長実践報告	学んだことを現場にどう活用し、成果に導いたかを発表し共有する	・行動計画書に沿って実践内容を報告する	28年度昇進係長
課長実践報告	学んだことを現場にどう活用し、成果に導いたかを発表し共有する	・行動計画書に沿って実践内容を報告する	28年度昇進課長
推薦コース実践報告	学んだことを現場にどう活用し、成果に導いたかを発表し共有する	・行動計画書に沿って実践内容を報告する	28年度推薦コース受講者

【専門分野】

研修名	ねらい	内 容	対象
認知症のケア	認知症のケアについて学ぶ	・回想法 ・ユマニチュード他	全ラダー
感染管理 ■環境整備について	TMGの標準予防策における環境整備(清掃)について理解する	・病院/施設の患者/利用者周囲の環境整備の考え方 ・環境清掃の種類と方法 ・高頻度接触部位と低頻度接触部位とは ・スポルディングの分類と消毒薬の種類	Ⅲ
高齢者の予防的スキンケア	高齢者の皮膚の特徴を知り、適切な予防的スキンケアを習得する	・脆弱な皮膚のスキンケア	WOCN不在の施設のⅡ以上
摂食嚥下障害看護 ■いつまでもおいしく安全に食べるために	高齢者に多い認知症・脳卒中患者の食支援について、知識と技術を習得する	・摂食嚥下の基礎知識 ・脳卒中の摂食嚥下 ・認知症の摂食嚥下	全ラダー